

**【重要】グローバル人材フォーラムのコンペ・ラウンドセッション実施に係る
評価方法について**

1、《第1部》コンペティションに出場される皆様へ

産官学民で構成される5人の審査員が、以下の評価指針に従い、審査対象に対して評価を実施します。評価点の高いところからグランプリ（1位）、準グランプリ（2位）を決定し、また、聴衆の投票によりオーディエンス賞のチームを決め、第3部のアワードセレモニーで賞の授与を行います。

○評価指針

審査対象：質疑応答を含むプレゼンテーションとプロジェクト概要書

※プロジェクト概要書以外の資料配布は不可としています。

※プロジェクト概要書に関する質疑応答もしていただいてかまいません。

評価項目：下記5項目を評価項目とし、**1項目につき1～10点**とする。

審査員一人あたり合計最大50点が満点（5名全員の合計は250点満点）となる。

※時間経過の減点あり：

「タイムキーパー」が合図・時間の計測を行い、「集計係」が集計・検算をします。

※同点の場合は審査員が協議の上決定。

（項目1）プレゼンテーション

- ・表現力：表現力に富み、わかりやすいプレゼンテーションであるか。
- ・態度：ハキハキと発言し、分かりやすく答えているか。

（項目2）創造性

- ・発表の内容が創造性※に富むものであるか。
- ・新しい価値（コト、モノなど）を生み出しているか。

※学生の創造性は、プロジェクトテーマやミッション設定にも影響される点に留意。

発想力の豊かさ、実現性の高さなど、多様な方向へむくことが予想されます。

（項目3）具体的な根拠と実現可能性

- ・発表内容の作成にあたって、具体的な根拠を備えているか。
- ・実現可能性がある提案となっているか。

（項目4）実施のプロセス

- ・ミッションに取り組むにあたってのフィールドワークに仕方に工夫や深みが見られるか。

第7回グローバル人材フォーラム

- ・ミッションに対して全員が適切に役割分担をして、良いチームワークでPBLに取り組んでいたか。(※発表当日のチームワークではない)

(項目5) グローカルな視野

- ・取組に対して、社会や世界の流れを意識する視点で捉えたうえで、(グローバル)
- ・地域や分野に特化した活動に取り組むことができているか。(ローカル)

以上

2、《第2部》学生×企業人のラウンドセッションに出場される皆様へ

ラウンドセッション後、聴衆者全員からシールによる(ドット)投票を実施し、グランプリを決定します。グランプリに選定されたチームは、第3部のアワードセレモニーで表彰します。

以上